

第 1 日 品 詞

TODAY'S POINTS

□英語の単語を文中の働きによって8つに分類することができる。そのおのおのを品詞という。

A

■ 解 答 ■

1. 前置詞 2. 動詞 3. 間投詞
4. 名詞 5. 前置詞 6. 接続詞
7. 代名詞 8. 名詞 9. 副詞
10. 形容詞

■ 解 説 ■

1. After you, please. 「お先にどうぞ。」
▶You first, please. も同じ意味。
2. I'll be seeing you. 「さようなら。/ じゃあまたね。」
▶See you (later). とも言う。
3. Well, I'm not sure. 「さて、どうだろう。」
▶間投詞の well はさまざまな使われ方をしますが、ここでは即答を避けようとする慎重さを表している。
4. I have a lot of homework to do this evening. 「私は今晚やらなければならない宿題がたくさんある。」
▶homework は数えられない名詞なので、a lot of [many] homeworks* としてはいけない。
5. He did not come till ten o'clock. 「彼は10時まで来なかった。」
▶till の後に名詞のみがあるので前置詞。
6. Let's wait till they come. 「彼らが来るまで待とう。」
▶till の後に〈主語＋動詞〉があるので接続詞。
7. Is this your hat? It's a very pretty one. 「これはあなたの帽子? とてもすてきな帽子ね。」
▶one はすでに出た名詞と同種のもので不特定の場合に用いる。つまり〈a [an] ＋単数名詞〉＝one である。
▶すでに出た特定の名詞を具体的に指し示す場合は、代名詞 it を用いるので、〈the ＋単

数名詞〉＝it と考える。

8. He treated me to an ice cream. 「彼は私にアイスクリームをおごってくれた。」
▶treat A to B 「A に B をおごる」
9. I usually go to school by bus. 「僕は普通バスで通学する。」
▶by は手段を表す。
10. Are you still up studying for the test? 「君はまだ起きて試験勉強しているのか。」
▶up は「目がさめている」の意味の副詞だが、補語として使われている。品詞については気にせずに使うようにするのがよい。
▶studying 以下は you are up のときに同時に行われていることを表している (→第17日：分詞構文)。

B

■ 解 答 ■

1. ①＝U ②＝U 2. ③＝C ④＝U
3. ⑤＝C 4. ⑥＝U ⑦＝C
5. ⑧＝C ⑨＝U 6. ⑩＝C

■ 解 説 ■

1. Who will be sent to Tokyo? 「だれが東京に派遣されるのですか。」
▶疑問代名詞 who は複数形で使われない。
▶Tokyo は固有名詞なので数えられない名詞。
2. He filled his glass with wine from the glass bottle. 「彼はガラスのビンからワインをコップいっぱいに注いだ。」
▶glass (コップ) は普通名詞なので数えられる。
▶glass bottle の glass は材料を示す語で数えられない物質名詞。
3. The Japanese are said to be a hardworking people. 「日本人は勤勉な国民だと言われている。」
▶people は「国民、民族」の意味で、1つの集合体 (集合名詞)。単数では a(n) がつき、2つ以上ある場合は複数形になる。
▶S ＋ be 動詞 ＋ said to be ～ 「S は～であると言われている」
4. I didn't want any coffee, but he ordered two coffees. 「僕はコーヒーは欲しくなかったが、彼はコーヒーを2つ注文した。」

- ▶コーヒーを「1つ、2つ」と言うときは数えられる名詞となる。
5. His latest work is on Japanese culture. 「彼の最近の著書は日本文化に関するものです。」
▶「作品、著書」の意味の work は普通名詞で数えられるが、「仕事」の意味の work は抽象名詞で数えられない。
▶culture (文化) は抽象名詞で数えられない。
 6. What paper do you take? 「あなたは何新聞をとっていますか。」
▶paper が「新聞」のときは普通名詞で数えられて複数形にできるが、「紙」のときは物質名詞で数えられない。数える場合は two sheets of paper (2枚の紙) のように言う。

C

■ 解 答 ■

1. cup 2. myself 3. heavy
4. in 5. when 6. falls
7. about

■ 解 説 ■

1. I'd like another cup of coffee. 「私はもう1杯コーヒーが欲しい。」
▶another 「別の、もう1つの」
▶would like 「～が欲しい(のですが)」 want より控えめな表現。
2. "What does he mean?" I said to myself. 「『彼は何を言わんとしているのかしら』と私はひとりごとを言った。」
▶say to oneself 「ひとりごとを言う」
3. We had a heavy snow last night. 「昨夜は大雪が降った。」
▶have a heavy snow (大雪が降る) とまとめて記憶するのがよい。cf. We had heavy snow last year. 「去年は雪がたくさん降った。」1年を通じての降雪量全体について言っているので冠詞の a がつかない。
4. It is very hot here in summer. 「当地の夏は非常に暑い。」
▶ある程度期間のあるものには in をつける。
5. Don't be afraid of making mistakes when you speak English. 「英語を話すときには間違いをするのを恐れてはいけない。」
▶when 「～するとき」 接続詞。

▶be afraid of ～ 「～を恐れる」

6. Snow falls in winter. 「冬には雪が降る。」
▶fall 「〔雪・雨などが〕降る」 cf. snowfall 「降雪、降雪量」
7. What about some tea? 「お茶などいかがですか。」
▶What about ～ ? / How about ～ ? 「～はいかがですか」 勧誘の表現。